

年度	2020年度（令和2年度）		
科目	電子回路応用 - I、II		
担当	松尾雅純	使用教室	31教室
実務経験	松下電器産業(株)(現パナソニック)にてガス機器商品の物作りを30年間、営業所(OBPにて)で8年間、営業窓口、販売計画と促進業務を担当する。		
種別	前期 . 後期 . 通年		
到達目標	自らのアイデアと工夫をして自分好みの電気製品を作り上げる。自分で設計するもよし、参考書等を真似るもよし、自由に製品を作り上げて自作の楽しみ、喜びを感じ取る。		
資格実施月	無し		
評価方法	定期考査(各期の中間、期末)の成績(70%)と平常点(出席状況、授業態度等)30%の合計点		
教科書等	電気回路の本(谷腰欣司著) 電気工作の職人技(高瀬和則著)		
授業計画	<p>電気回路図を見て、その機能、構造を理解してそれを一つの「物」として各部品を組み合わせて商品化させる。 オリジナリティの有る物作りで完成の喜びを体験させる。</p> <p>1、第1週から第2週 電気部品の種類とその機能、図面記号を理解させる。</p> <p>2、第3週から第4週 文献や技術資料に記載されている製作図面を見て、電気回路図を理解してその動きや働きを把握出来る様にする。</p> <p>3、第5週から第6週 自分が作りたい商品の決定。(前期は技術資料の物まね) 必要部品の選定と調達。又、各種部品の価格相場の調査。</p> <p>4、第7週から第12週 回路図に従って、工具、半田ゴテを使用して作品を作り上げる。</p> <p>5、第13週から第14週 完成した段階でその機能、性能を確認させる。</p> <p>6、第15週から第17週 上手く作動しない場合はその原因を追及して、それを修復させる。</p> <p>7、第18週 最終的に自らがオリジナリティな作品を完成させ、その喜びを体験して、電子工作を作る楽しみを味わってもらう。</p> <p>★ 期末の「学生成果発表会」に作品を展示するが、1作品/半期のペースで作品を完成させる。</p> <p>★ 部品の調達予算 半期、1作品を完成させる費用として 1500円/人 以内とする。</p> <p>当初より自作した作品を自宅にて個人使用する事を希望する時は製作に掛った部品代等の費用はすべて個人負担とする。</p>		